

# いづばん質問

本定例会での一般質問は、11人の議員が登壇し、さまざまな角度から市政をただしました。質問(Q)と答弁(A)を要約してお知らせします。

※ 会派に所属していない議員につきましては、氏名の下の会派名は記載していません

## 物販で経済効果生み出す施設に

### 広域的な観光情報の発信拠点



近村 晴男 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 空港旧ターミナルビルは国道4号に面し、広い駐車場もあることから、物販をメインに、集客と

活性化、経済効果を生み出す施設の活用策も検討すべきではないのか。  
**A(市長)** 当初から交流としての観点や市全体にかかわる施策として活用というところで検討してきた。広域的な観光情報の発信拠点として特産品の紹介や朝市産直等をした

いとの申し出があった場合、活用できるように配慮する。  
**診療センターの活用**  
**Q** 大迫地域診療センターの空き病室の活用について、地元から特別養護老人ホームとして50床のベッドを希望された場

合と県医療局が、医師が充足され、休止している入院ベッドを復活するといった場合の病室の整備に対する市の対応について伺う。  
**A(健康こども部長)** 特別養護老人ホームについては、可能な限り希望に応えたい。また、入院ベッド復活の場合には状況を勘案しながら適切な対応をする。



いわて花巻空港スカイフェスタ2010

## 総合計画の見直し方針は

### 現況踏まえ新たな目標計画設定



佐藤 忠男 議員  
(明和会)

**Q** 合併時に策定した総合計画(平成19〜27年度)を市長演説で見直すとの方針が示された。これま

での施策の進捗よく状況成果の検証はどうかについて伺う。また、見直しの方針および財政計画規模の考え方について伺う。  
**A(市長)** 主要事業の着手率は90%であり、「都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり」等の政策は目標を上回るが、

雇用や企業誘致等はさらに対策が必要である。施策や事務事業の見直し、指標の再設定を行うとともに、27年度には400億円を切る財政規模となるよう計画の見直しを行う。  
**Q 国に農業政策提言を**  
米価の大幅下落が確

実な一方、戸別所得補償等の制度設計が進められている。過剰米対策が喫緊の課題だが、国に政策提言を行う必要があると思うがどうか。  
**A(農林水産部長)** 戸別所得補償は農業経営を支える仕組みである。過剰米対策による価格維持は生産調整に参画しない農家の販売価格も維持することになり、制度の根幹を揺るがすことになりかねず、制度の成果を見極める必要があると考える。



過剰米対策を含めた総合的な農業振興策が求められています

## 大迫診療センターの継続を

### 地域の意向を尊重しながら対応



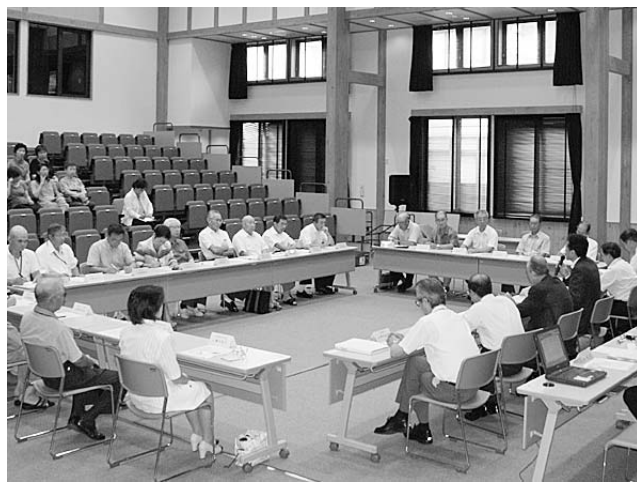
若柳 良明 議員  
(平和環境社民クラブ)

**Q** 大迫診療センターの空きスペース活用に関する住民代表と市との懇談会で多く出された意見や

センターの重要性をどう受け止めたか。また、特別養護老人ホームの運営を地域住民が行うことについてどう考えるか。  
**A(市長)** 決してなくしてはならない施設と考えており、存続することが地元のかたがたの強い要望であると認識し、地域

の意向を大切に受け止めている。大迫地域の実情を地域のかたがたが自分たちで考えた中で自分たちの力で取り組もうとする意識というものは尊重すべきものと考えている。  
**Q 市の支援策は何か**  
特別養護老人ホーム

施設の運営組織の設立および運営について市の支援策は何か伺う。  
**A(健康こども部長)** 社会福祉法人の設置認可が下りるまでにはおおむね6カ月から1年程度必要になることから、介護保険事業の指定に向けた準備など山積する課題があるものと思っており、市としても課題解決に向け可能な限り支援をしていく。



大迫地域診療センターの今後を協議する懇談会(大迫地域診療センター)